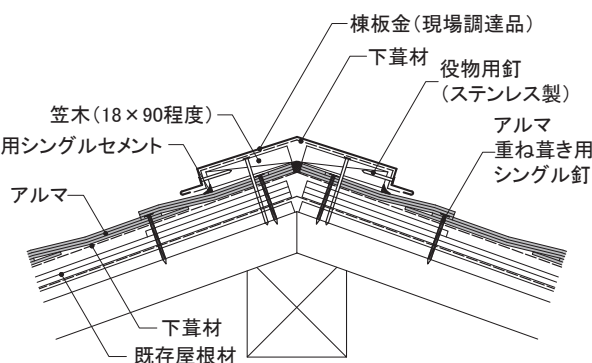
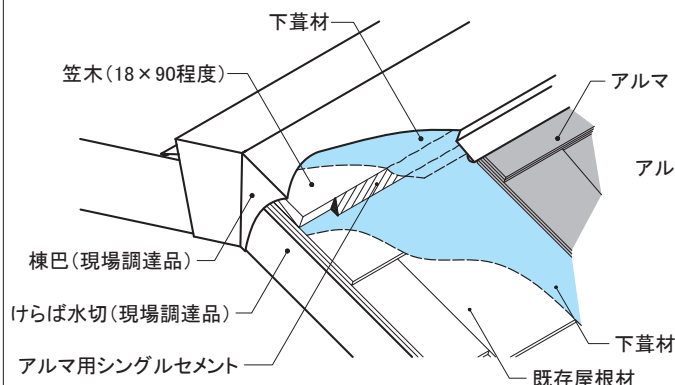


3) 大棟部

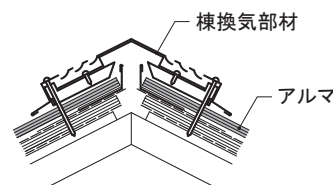
① 板金仕様

- 最上段のアルマ本体は葺き足長さを短く調整するなどして葺き、釘頭があらわしにならないように施工します。
- 笠木とアルマの取り合い部にアルマ用シングルセメントを塗布します。



施工上の注意

アルマの施工では小屋裏換気を標準としております。
既存建物の小屋裏換気の状態から、必要に応じて棟換気部材を設置してください。
なお、換気棟セットにつきましては、株式会社ヨネキンのシングル用棟換気部材を推奨いたします。



3) 大棟部

② 同質棟材仕様

- 同質棟材1枚につき、アルマ同質棟材用シングル釘(φ3mm×43mm)4本で施工します。
- 棟芯に沿って折り曲げる際、同質棟本体の割れを防ぐため、日なたなどで温めてから施工します。
- 同質棟材施工の前に、棟芯にシングルセメントを塗布します。
- 同質棟材の重なり部分には、下図のようにシングルセメントを幅5～10mmのビード状に塗布します。
- 1段目の同質棟材は、裏面にシングルセメントを幅5～10mm幅のビード状に塗布します。

